

狭山が発祥の地

童句

冬立つや まき割る父の 力こぶ
奥井八重子

寄鍋の カニを横目に 猫すわる
寒河江美江子

からからと 落葉の競争 路地長し
内河美枝

冬木立 チャンバラっここの 声あがる
高橋幸子

から振りの バットの向こうに いわし雲
大谷木浩子

しずみたる 火のように 冬の金魚いる
創始者 土家由岐雄

AET CORNER



Edward Te Ua(AET)

Hello, everybody! This is Ed again. You may remember that I m from New Zealand. Have you ever heard of the tuatara? The tuatara is a rare reptile found only on a few island off the coast of New Zealand. The tuatara is the closest relative to the dinosaurs still alive today. It has remained unchanged for 200 million years. One different between the tuatara and the lizard is that tuatara do not have teeth. They have a serrated jaw. They are olive coloured, and an adult is about 60 cm in length with spikes down its neck and back. A tuatara can live for 60 years. Naturally, the tuatara is a protected species.

皆さん、こんにちは。再びエドです。私がニュージーランド出身なのを皆さん覚えていませんか。ところで「ツアタラ」という言葉を聞いたことがありますか。ツアタラはニュージーランド近海のいくつかの島にだけ見られる、現在生存している最も恐竜に近い珍しい爬虫類です。2億年もの間、変化しないままで生存し続けています。ツアタラとトカゲなどの爬虫類との1つの違いは、ツアタラには歯がないことです。ツアタラはノコギリ状の顎を持っています。体の色は緑色で、成長すると首や背中に大きな釘を打ち込まれたような模様をつけて、体長60センチメートルくらいになります。ツアタラは60年くらい生きることができます。当然保護されている種です。(英文の要約)



池原 昭治の

さやまの冬会本

68



もついくつねるとお正月

師走(十二月)の声を聞くようになりますと、各家々ではお正月の支度にかかります。先ずは「煤とり」といいまして、煤竹をつかって神仏の棚から縁の下までの大掃除があり、子どもたちもこの日はかりは手伝わされます。煤竹は新子と呼ばれる新しい笹竹をつかい、終わればすぐ焼却したそうです。煤とりは、十三日ごろから二十五日ごろまで行われました。

そして次に子どもたちの待ちに待った「餅つき」です。昔は師走の下旬になりますと「ホイッーホイッー」と、いせいのいいかけ声と「ペッターン！ペッターン！」と、はずむ音が競争で聞こえてきました。餅つきは、たいてい二十八日か三十日でした。二十九日は「二重苦」といって縁起がよくないのだそうです。三十一日は、一夜餅になるからといってつきませんでした。お正月を迎える行事もいろいろあるものです。

R280 この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率80%の再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち



[狭山市広報] VOL.545

発行日 / 平成12年12月10日(毎月10・25日発行)

発行 / 狭山市

編集 / 狭山市企画総務部広報課

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL 042-953-1111(内線7161)

FAX 042-954-6262テレホンガイドさやま ☎0120-460-380

ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/

しやう きやま